

図書だより

夏休み
田原本町立北中学校
令和6年夏休み
第3号

夏休みには読書をしよう！

さあ、明日からはいよいよ夏休みです。今年の夏休み、みなさんはどのように過ごしますか？ お出かけの予定もあって、楽しみにしている人もいないのでしょうか。夏休みを楽しく過ごすために、夏休みの課題には計画的に取り組み、期日に間に合うように提出しましょう。そして、日頃なかなかできないお手伝いを、進んでするようにしましょう。さらに、日頃あまりゆっくり時間を取ることができない読書に、たっぷり時間をかけてください。読書することで考えが深まったり、今まで知らなかった知識や感情を得ることができるかもしれません。いずれにせよ、充実した夏休みを過ごしてください。

2024課題図書

今年度も課題図書が発表されていますが、どんな本か皆さん知っていますか？ 北中学校でも早いうちから新刊コーナーに置いていましたが、もう読みましたか？ 課題図書とは、多くの感動を得られたり、新たな知識を得られたりする本を、専門家の先生たちが選んだものです。まだ読んでいないという人も、ぜひ読んでみてください。

中学校の部

「ノクツドウライオウ：靴ノ往来堂」／佐藤まどか（あすなろ書房）

夏希はシューズデザイナーを夢みる中学生。祖父はオーダーメイド靴店「往来堂」の店主だ。祖父がつくる靴を履いた人たちには、人生を変えるほどの変化が起こる。夏希は、それらに影響を受けながら進路を定めていく。



「希望のひとしずく」／キース・カラブレーゼ（理論社）

3人の中学生が、願いをかなえる伝説の井戸を見つける。そして、クラスメイトや町の人たちのさまざまな願いを知る。ひとりの優しい気持ちが、思いがけない奇跡を起こし、だれかの幸せにつながっていく。愛と希望の物語。



「アフリカで、バッグの会社をはじめました：寄り道多め仲本千津の進んできた道」／江口絵理（さ・え・ら書房）

将来の夢が何度も変わり、銀行員になっても、仲本千津さんは「こうありたい自分」をずっと追いとめてきました。色あざやかなバッグと彼女の生き方は、「自分の好きな色を選んでいいんだよ」というメッセージです。

高等学校の部

「宙わたる教室」／伊与原 新（文藝春秋）

定時制高校に集った、さまざまな事情を抱えた生徒たち。彼らは「科学部」を結成し、「火星のクレーター」を再現する実験を始めた——夜の教室で起こった奇跡の化学反応が胸を打つ、共感度100%の物語です。



「優等生サバイバル：青春を生き抜く13の法則」／ファン・ヨンミ（評論社）

テスト、課題、進路、そして恋……。1日は24時間。やらなきゃいけないこと、考えなきゃいけないことは満載!! 悩み多き日々のなか、ジュノは、将来の準備期間だけではない「今を生きる」法則を見つけていきます。



「私の職場はサバンナです!」／太田ゆか（河出書房新社）

大好きな動物を守りたい——南アフリカ政府公認・唯一の日本人女性サファリガイドが伝えたい知られざるサバンナの動物たちの生態、環境保護の最前線、人と自然が共生するために大切なこと。



小学校高学年の部

「ぼくはうそをついた」
「ドアのおこうの国へのパスポート」
「図書館がくれた宝物」
「海よ光れ!」

